

メジャー企業の 2020 年第 4 四半期決算発表について

(各社ホームページ、報道等)

- メジャー企業の 2020 年第 4 四半期決算は BP、Total の 2 社が利益を確保したのに対し、ExxonMobil、Royal Dutch Shell、Chevron の 3 社は最終赤字となった。損失額では米国シェールガス資産の減損を実施した ExxonMobil の 201 億ドルが最大であったが、メジャー企業各社とも設備投資を削減し借入を圧縮するなど財務規律を優先している。ブレークイーブンが低く温室効果ガスの排出が少ないコア資産に投資を集中することで利益を確保しつつ、再生可能エネルギーや二酸化炭素回収貯留事業などエネルギーtransitionへの取り組みを進めている。
- 5 社体制に移行した 2000 年以降、メジャー企業 5 社は垂直統合型ビジネスモデルの強みを活かして採算を確保してきたが、2020 年は通年ベースで初めて全社が損失を計上した。新型コロナウイルス感染拡大とエネルギーtransitionの影響は探鉱を含めた上流開発投資だけに止まらず、精製・石化事業を含めた全社的な事業ポートフォリオの見直しに及んでいる。BP が Big Oil から Big Energy へ戦略の転換を掲げ、Total が TotalEnergies に社名を変更し、ExxonMobil と Chevron が合併を検討していたことが報道されるなど、メジャー企業各社の設備投資・エネルギーtransition戦略の動向が注目される。

1 はじめに

メジャー企業各社の 2020 年第 4 四半期決算では、BP と Total が少額ながら利益を計上したのに対し、ExxonMobil、Royal Dutch Shell、Chevron は損失を計上した。第 1・2 四半期に新型コロナウイルス感染拡大による需要減少で急落してから OPEC プラス主要産油国の協調減産や米国シェール開発の減速等により原油価格は 60 ドル前後まで上昇して、比較的安定した水準にあるものの、メジャー企業の設備投資は回復するまでには至っていない。

2 2020 年第 4 四半期決算の動向

1) ExxonMobil

ExxonMobil の 2020 年第 4 四半期決算は 4 四半期連続赤字、前年同期 56.9 億ドルの純利益から 200.7 億ドルの純損失となり、売上高は 672 億ドルから 449 億ドルへ減少した。設備投資と経費削減

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

策は第3四半期までに打ち出されていたが、第4四半期には米国における天然ガス事業(168億ドル)のほかカナダ・アルゼンチンなどの上流資産(22億ドル)の減損処理を実施した。

第4四半期の石油・天然ガス生産量は前年同期の401.8万boedから378.5万boedに5.8%減少したが、石油生産が回復したため第3四半期367.2万boedとの比較では3%増加した。パーミアンにおけるシェールオイル・ガス生産は41.8万boedとなり前年同期比42%増加(年平均36.7boed)、掘削・仕上げの生産性は前年比2~3割程度改善しており、2021年は掘削設備7~10基、水圧破砕チーム5~7隊の稼働により40万boedを生産する見通しである。油価・連邦政府管理鉱区における開発許認可にも左右される側面はあるが、2025年までに70万boed程度に生産を拡大するとしている。

【ExxonMobil:決算概要】

	(決算期)	2018	2019	2020	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2020Q1	2020Q2	2020Q3	2020Q4
生産量												
石油	MBbl/d	2,266	2,386	2,349	2,327	2,389	2,392	2,436	2,480	2,306	2,286	2,325
天然ガス	MMcf/d	9,405	9,394	8,471	9,924	9,120	9,045	9,495	9,396	7,990	8,316	8,185
合計	MBoe/d	3,833	3,952	3,785	3,981	3,909	3,899	4,018	4,046	3,638	3,672	3,785
埋蔵量												
石油	MMBbl	15,657	14,598	8,885	-	-	-	-	-	-	-	-
天然ガス	Bcf	51,816	47,080	37,960	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	MBoe	24,293	22,445	15,212	-	-	-	-	-	-	-	-
可採年数	年	17.4	15.6	11.0	-	-	-	-	-	-	-	-
LNG液化量	百万トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油精製量	千b/d	4,272	3,981	3,773	3,886	3,930	4,052	4,053	4,060	3,516	3,759	3,755
製油所能力	千b/d	4,724	4,739	4,770	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	5,512	5,452	4,895	5,415	5,408	5,504	5,482	5,287	4,437	5,023	4,833
損益計算書												
売上高	百万ドル	286,687	264,938	181,502	63,625	67,491	63,422	67,173	55,134	32,277	45,425	46,540
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	20,840	14,340	-22,440	2,350	3,130	3,170	5,690	-610	-1,080	-680	-20,070
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	47,973	50,052	44,893	51,576	51,743	50,008	50,052	50,249	53,016	48,693	44,893
固定資産	百万ドル	298,223	312,545	287,857	304,613	308,986	309,353	312,545	305,555	308,479	309,350	287,857
総資産	百万ドル	346,196	362,597	332,750	356,189	360,729	359,361	362,597	355,804	361,495	358,043	332,750
流動負債	百万ドル	57,138	63,989	56,363	66,632	70,287	64,195	63,989	64,773	57,270	56,468	56,363
固定負債	百万ドル	97,264	106,958	119,237	98,335	99,065	105,251	106,958	108,952	124,042	124,175	119,237
有利子負債	百万ドル	37,796	45,250	65,960	40,825	45,196	47,146	46,900	59,612	69,515	68,799	65,960
純資産	百万ドル	191,794	191,650	157,150	191,222	191,377	189,915	191,650	182,079	180,183	177,400	157,150
キャッシュフロー												
営業CF	百万ドル	36,014	29,716	14,668	8,338	5,947	9,079	6,352	6,274	0	4,389	4,005
設備投資	百万ドル	25,923	31,148	21,374	6,890	8,079	7,719	8,460	7,143	5,327	4,133	4,771
フリーCF	百万ドル	19,541	3,838	-4,147	1,778	1,849	1,835	1,295	1,349	-2,739	868	-2,854
時価総額	百万ドル	288,771	295,449	174,484	341,872	324,230	298,758	295,322	160,545	189,087	145,155	174,504
従業員数	人	71,000	74,900	72,000	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算報告プレスリリース

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

第3四半期の設備投資は47.7億ドルとなり、年間ベースでは新型コロナウイルス感染拡大を受けて330億ドルから230億ドルに減額されていた計画に対し214億ドルという実績になった。シェールオイルに対する投資計画は需要見通しの減少に応じてペースダウンされているのに対し、深海油田の探鉱・開発は予定通り積極的に推進する予定であり、90億バレル相当の可採埋蔵量があるガイアナでは2026年75万b/dを生産する見込み、ブラジル Bacalhau 油田も2024年生産開始に向けて探鉱・開発が進んでいる。

石油精製量は、前年同期の405.3万b/dに対して375.5万b/dに減少したが、エネルギートランジションの関連で石油・天然ガス需要を牽引する石油化学事業と共に付加価値の高い中下流事業に対する設備投資は拡大していくとしている。

ExxonMobilは石油・天然ガス需要の増加が継続するとしてカウンターシクリカルな投資を継続するBig Oilモデルを堅持してきたが、第4四半期は減損を実施するとともにエネルギートランジション対応に戦略を転換し、これまで20年以上に亘り研究開発を行ってきた二酸化炭素回収貯留技術を新たに設立したExxonMobil Low Carbon Solutionsを通じて事業化することを発表した。

2) Royal Dutch Shell

Royal Dutch Shellの2020年第4四半期決算は40.1億ドルの純損失を計上、米国メキシコ湾の上流資産 Appomattox で13億ドルの減損処理を行ったほか、米国・オランダ・シンガポールの精製設備で計13億ドルの減損処理を行っている。売上高は前年同期840億ドルから440億ドルへ大幅に減少している。

石油・天然ガス生産量は前年同期376.3万boedから337.1万boedに10.4%減少、米国メキシコ湾におけるハリケーンの影響が残っていた第3四半期308.1万boedとの比較では9.4%増加した。

第4四半期の設備投資は55億ドル、通年ベースでは178億ドルとなり、年初250億ドルから200億ドルに下方修正された年間投資見通しを下回った。資産売却の動きも進んでおり、第4四半期に豪州 Queensland Curtis LNG プロジェクト関連資産の一部を25億ドルで売却したほか、発表は今年に入ってからであるがナイジェリアの探鉱資産売却にも合意している。

Royal Dutch Shellの新事業戦略では、低炭素事業、エネルギートランジション、上流開発が3本の柱とされている。再生可能エネルギーや二酸化炭素回収貯留といった低炭素事業を「成長の柱」とし、天然ガス液化事業や石油化学といった移行期の事業（「移行の柱」）で業容を拡大し、高採算・低

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

炭素密度の上流開発資産(「上流の柱」)で収益を支えるとしている。キャッシュフローの源泉となる中核上流資産には英領北海、パーミアン、米国メキシコ湾、ブラジル、ナイジェリア、カザフスタン、オマーン、マレーシア、ブルネイが含まれ、これら9地域に設備投資の8割を投入してキャッシュフローの8割を上げるとしている。石油生産は2019年がピークであったとする一方、移行の柱である天然ガス・LNGに対する需要は石炭からの切り替えにより2040年にかけて増加が継続すると見ている。

【Shell:決算概要】

	(決算期)	2018	2019	2020	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2020Q1	2020Q2	2020Q3	2020Q4
生産量												
石油	MBbl/d	1,803	1,876	1,803	1,854	1,842	1,871	1,934	1,947	1,820	1,697	1,752
天然ガス	MMcf/d	10,806	10,377	9,181	11,007	10,096	9,810	10,605	10,275	9,041	8,027	9,392
合計	MBoe/d	3,604	3,606	3,386	3,752	3,583	3,563	3,763	3,719	3,379	3,081	3,371
埋蔵量												
石油	MMBbl	5,437	5,264	4,621	-	-	-	-	-	-	-	-
天然ガス	Bcf	35,615	33,821	26,114	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	MMBoe	11,373	10,901	8,973	-	-	-	-	-	-	-	-
可採年数												
	年	8.5	8.3	7.3	-	-	-	-	-	-	-	-
LNG液化量	百万トン	34.32	35.55	33.25	8.74	8.66	8.95	9.21	8.88	8.36	7.80	8.21
石油精製量	千b/d	2,648	2,564	2,063	2,665	2,632	2,522	2,438	2,397	1,944	1,972	1,940
製油所能力	千b/d	2,913	2,832	2,750	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	6,783	6,561	4,710	6,467	6,608	6,731	6,435	5,278	4,041	4,740	4,781
損益計算書												
売上高	百万ドル	388,379	344,877	180,543	83,735	90,544	86,592	84,006	60,029	32,504	44,021	43,989
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	23,352	15,843	-21,680	6,001	2,998	5,879	965	-24	-18,131	489	-4,014
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	97,482	92,689	90,695	95,990	93,096	86,186	92,689	84,973	86,201	92,311	90,695
固定資産	百万ドル	301,712	311,648	288,572	315,835	315,795	309,588	311,648	308,988	288,897	286,939	288,572
総資産	百万ドル	399,194	404,337	379,267	411,825	408,891	395,774	404,337	393,961	375,098	379,250	379,267
流動負債	百万ドル	77,813	79,625	73,950	82,844	84,317	75,165	79,625	76,243	69,393	70,541	73,950
固定負債	百万ドル	122,735	138,236	150,007	132,656	132,296	131,992	138,236	138,079	148,549	151,541	150,007
有利子負債	百万ドル	76,824	96,424	79,595	92,541	92,646	88,924	96,424	65,775	75,917	80,126	79,595
純資産	百万ドル	198,646	186,476	155,310	196,325	192,278	188,617	186,476	179,639	157,156	157,168	155,310
キャッシュフロー												
営業CF	百万ドル	53,085	42,179	34,105	8,630	11,031	12,252	10,267	14,851	2,563	10,403	6,287
設備投資	百万ドル	24,839	28,789	17,827	5,601	6,341	7,759	6,883	4,970	3,617	3,737	5,504
フリーCF	百万ドル	39,426	26,400	12,500	8,618	6,168	7,628	6,094	3,423	3,316	5,101	657
時価総額												
従業員数	人	81,000	83,000	87,000	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算報告プレスリリース

3) BP

BPの第4四半期決算は13.6億ドルの純利益計上となり、前年同期0.02億ドルの純利益、そして第3四半期4.5億ドルの純損失と比べ改善した。

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

石油・天然ガス生産量 326.6 万 boed は、前年同期の 379.3 万 boed に対し 13.9%、第 3 四半期 331.8 万 boed から 1.6%の減少。第 4 四半期にはオマーンの Ghazeer、英領北海の Vorlich、インドの KG D6 R が生産を開始したほか、Trans Adriatic パイプラインが完成しアゼルバイジャンの Shah Deniz から欧州への天然ガス供給が始まっている。

【BP:決算概要】

	(決算期)	2018	2019	2020	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2020Q1	2020Q2	2020Q3	2020Q4
生産量												
石油	MMbbl/d	2,191	2,211	2,106	2,236	2,213	2,144	2,251	2,222	2,222	1,987	1,995
天然ガス	MMcf/d	8,659	9,102	7,929	9,199	8,930	9,031	9,251	8,662	7,973	7,717	7,371
合計	MBoe/d	3,683	3,728	3,473	3,769	3,701	3,649	3,793	3,715	3,596	3,318	3,266
埋蔵量												
石油	MMBbl	11,456	11,478	10,659	-	-	-	-	-	-	-	-
天然ガス	Bcf	49,239	45,601	42,467	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	MMBoe	19,663	19,078	17,737	-	-	-	-	-	-	-	-
可採年数												
年		14.6	14.0	14.0	-	-	-	-	-	-	-	-
LNG販売量												
石油精製量	千b/d	1,725	1,749	1,627	1,739	1,597	1,813	1,847	1,806	1,487	1,587	1,628
製油所能力	千b/d	1,890	1,906	1,909	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	5,930	5,995	5,301	5,886	5,884	5,945	6,263	5,888	5,093	4,972	5,255
損益計算書												
売上高	百万ドル	298,756	278,397	180,366	66,321	72,676	68,291	71,109	59,650	31,676	44,251	44,789
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	9,383	4,026	-20,305	2,934	1,822	-749	19	-4,365	-16,848	-450	1,358
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	71,310	82,059	72,982	72,697	71,543	75,907	82,059	64,304	73,971	70,825	72,982
固定資産	百万ドル	210,866	213,135	194,672	220,584	221,619	210,356	213,135	209,560	189,210	189,425	194,672
総資産	百万ドル	282,176	295,194	267,654	293,281	293,162	286,263	295,194	273,864	263,181	260,250	267,654
流動負債	百万ドル	68,237	73,595	59,799	71,272	66,855	64,968	73,595	63,698	57,073	58,077	59,799
固定負債	百万ドル	114,495	123,187	136,605	120,810	124,822	123,373	123,187	121,880	125,335	122,203	136,605
有利子負債	百万ドル	65,799	77,446	74,597	76,284	77,932	75,506	77,446	78,490	77,937	74,716	74,597
純資産	百万ドル	99,444	98,412	83,326	101,199	101,485	97,922	98,412	88,286	80,773	79,970	83,326
キャッシュフロー												
営業CF	百万ドル	22,873	25,770	12,162	5,296	6,815	6,056	7,603	952	3,737	5,204	2,269
設備投資	百万ドル	25,088	19,421	14,055	5,635	5,654	4,023	4,109	3,861	3,067	3,636	3,491
フリーCF	百万ドル	18,607	21,399	2,425	5,431	4,355	3,629	4,873	-2,583	1,475	2,867	666
時価総額	百万ドル	126,659	125,221	70,113	148,090	142,000	129,489	125,221	86,177	76,664	56,215	70,113
従業員数	人	73,000	70,100	63,600	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算報告プレスリリース

2018年にBHPから105億ドルで買収した米国シェール資産については、シェールガスについては大幅な生産削減、シェールオイルについても現状12.5万b/d程度から2025年に26万b/dまで拡大するとしたものの、2021~22年は現状維持の見通しを示している。

米国シェール資産のほか、米国メキシコ湾、アンゴラ、北海油田、アジア、アゼルバイジャン-ジョージア-トルコ、中東、北アフリカの8つの中核地域から生産量と利益の8割を上げるとしている。

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

設備投資は 34.9 億ドル、通年では目標 120 億ドルに対し 140.5 億ドルであった。2020 年第 4 四半期末の FID 済み再生可能エネルギー発電能力は 3.3GW(前年同期 0.7GW)、今年 1 月 Equinor との米国洋上風力発電事業合弁に合意しているほか、Orstad とドイツの Lingen 製油所におけるグリーン水素や英国の CCUS プロジェクトへを予定している。

BP は 2025 年までに 250 億ドルの資産売却を計画しており、第 4 四半期には石油化学事業を 35 億ドルで Ineos に売却したほか、今年 2 月にはオマーンの Block 61 権益の 20%を 26 億ドルで売却するなど計画の進捗率は 5 割を超えている。今年後半にも 40~60 億ドルの資産売却を予定しており、借入圧縮を進めている。

4) Chevron

Chevron の第 4 四半期決算は 6.7 億ドルの純損失となり、前年同期 66.1 億ドルからは改善したが、第 3 四半期 2.1 億ドルからは損失が拡大した。

石油・天然ガス生産量 327.7 万 boed は前年同期の 307.8 万 boed から 6.5%、第 3 四半期 283.4 万 boed からは 15.6%の増加であった。パーミアンにおける生産量は Noble Energy が加わったことで 60 万 boed まで増加した。従来年間 40~50 億ドルを投資して 2025 年に 120 万 boed まで増産するとしていた計画を 2021 年は 20 億ドルに削減、現状 5 基が稼働中のリグ数を据え置くとしている。

昨年初め油価(ブレント)60 ドルを前提に 190~220 億ドルとされていた年間設備投資計画は 140~160 億ドルに削減されていたが、実績は 135 億ドルとなった。

Chevron は低炭素化技術の事業化に対する取り組みも強化しており、バイオ燃料事業や水素バリューチェーンへの投資のほか Chevron Technology Ventures を通じて二酸化炭素回収貯留事業も手掛けている。

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

【Chevron:決算概要】

	(決算期)	2018	2019	2020	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2020Q1	2020Q2	2020Q3	2020Q4
生産量												
石油	MMbbl/d	1,782	1,865	1,868	1,875	1,863	1,830	1,893	1,966	1,824	1,707	1,978
天然ガス	MMcf/d	6,889	7,157	7,290	6,975	7,327	7,215	7,110	7,613	6,986	6,764	7,796
合計	MBoe/d	2,930	3,058	3,083	3,038	3,084	3,033	3,078	3,235	2,988	2,834	3,277
埋蔵量												
石油	MMBbl	6,790	6,521	6,147	-	-	-	-	-	-	-	-
天然ガス	Bcf	31,576	29,457	29,922	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	MMBoe	12,053	11,431	11,134	-	-	-	-	-	-	-	-
可採年数	年	11.3	10.2	9.9	-	-	-	-	-	-	-	-
LNG液化量	百万トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油精製量	千b/d	1,611	1,564	1,377	1,530	1,559	1,617	1,551	1,600	1,170	1,390	1,347
製油所能力	千b/d	1,564	1,748	1,804	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	2,655	2,577	2,224	2,606	2,541	2,650	2,512	2,430	1,931	2,286	2,247
損益計算書												
売上高	百万ドル	158,902	139,865	94,471	34,189	36,323	34,779	34,574	29,705	15,926	23,997	24,843
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	14,824	2,924	-5,543	2,649	4,305	2,580	-6,610	3,599	-8,270	-207	-665
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	34,021	28,329	26,078	33,671	33,087	33,988	28,329	28,562	23,732	24,803	26,078
固定資産	百万ドル	219,842	209,099	213,712	223,138	222,791	222,549	209,099	208,115	199,671	198,260	213,712
総資産	百万ドル	253,863	237,428	239,790	256,809	255,878	256,537	237,428	236,677	223,403	223,063	239,790
流動負債	百万ドル	27,171	26,530	22,183	29,951	28,829	30,233	26,530	28,235	20,825	19,664	22,183
固定負債	百万ドル	72,138	66,685	85,919	71,813	70,654	70,463	66,685	64,512	68,460	71,625	85,919
有利子負債	百万ドル	34,459	27,968	45,159	37,256	34,697	36,916	27,968	32,351	34,810	34,810	45,159
純資産	百万ドル	154,554	144,213	131,688	155,045	156,395	155,841	144,213	143,930	134,118	131,774	131,688
キャッシュフロー												
営業CF	百万ドル	30,618	27,300	10,576	5,057	8,783	7,817	5,657	4,722	80	3,537	2,237
設備投資	百万ドル	20,106	20,994	13,499	4,734	5,288	4,956	6,016	4,424	3,306	2,592	3,177
フリーCF	百万ドル	18,780	12,400	3,400	3,556	4,716	3,381	2,347	2,928	-1,789	1,947	1,069
時価総額	百万ドル	207,010	204,072	162,582	234,624	236,239	224,257	226,820	135,281	166,616	134,447	162,582
従業員数	人	48,600	48,200	47,736	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算報告プレスリリース

5) Total

Total の 2020 年第 4 四半期純利益は前年同期 26 億ドルから 8.9 億ドルに減少したが、減損処理は完了しているため第 3 四半期 2.0 億ドルからは改善した。

石油・天然ガス生産量は前年同期 311.3 万 boed から 8.7%減少して 284.1 万 boed となった。石油生産が 171.4 万 b/d から 148.3 万 b/d へと 13.5%減少しており、OPEC プラス協調減産によるアンゴラ、イラク、カザフスタン、ナイジェリアに加え、カナダやリビアの減産が影響した。

2020 年の設備投資実績は 155 億ドルとなり、修正後の年間投資計画 140 億ドルを上回った。Arctic LNG 2、モザンビーク、キャメロン、Costa Azul で大型の液化設備投資プロジェクトを予定している。

Total は欧州では 2050 年までに消費段階までを含めた温室効果ガス排出ネットゼロ(欧州域内ス

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

コープ3 ネットゼロ)を目指し、事業の柱を LNG と再生可能エネルギーとし、5月の株主総会の承認を前提に社名も TotalEnergies に変更するとしている。

【Total:決算概要】

	(決算期)	2018	2019	2020	2019Q1	2019Q2	2019Q3	2019Q4	2020Q1	2020Q2	2020Q3	2020Q4
生産量												
石油	MBbl/d	1,566	1,672	1,543	1,629	1,624	1,720	1,714	1,699	1,553	1,437	1,483
天然ガス	MMcf/d	6,599	7,364	7,246	7,321	7,477	7,399	7,563	7,560	7,045	6,973	7,406
合計	MBoe/d	2,775	3,014	2,871	2,946	2,957	3,040	3,113	3,086	2,846	2,715	2,841
埋蔵量												
石油	MMBbl	6,049	6,006	5,804	-	-	-	-	-	-	-	-
天然ガス	Bcf	32,325	36,015	35,220	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	MMBoe	12,050	12,009	11,674	-	-	-	-	-	-	-	-
可採年数												
		11.9	10.9	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-
LNG液化量	百万トン	11.10	16.30	17.60	3.80	4.10	4.20	4.20	4.70	4.30	4.30	4.30
石油精製量	千b/d	1,852	1,671	1,292	1,862	1,595	1,719	1,509	1,444	1,249	1,212	1,262
製油所能力	千b/d	2,021	1,959	1,967	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	4,153	4,110	3,410	4,135	4,152	4,136	4,019	3,663	3,208	3,149	3,619
損益計算書												
売上高	百万ドル	209,363	200,316	140,685	51,205	51,242	48,589	49,280	43,870	25,730	33,142	37,943
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	11,446	11,267	-7,242	3,111	2,756	2,800	2,600	34	-8,369	202	891
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	79,799	85,265	79,679	81,752	82,976	81,372	85,265	78,085	80,042	77,597	79,679
固定資産	百万ドル	176,963	188,029	186,453	183,111	184,524	186,069	188,029	185,099	179,363	179,385	186,453
総資産	百万ドル	256,762	273,294	266,132	264,863	267,500	267,441	273,294	263,184	259,405	256,982	266,132
流動負債	百万ドル	62,234	70,244	64,676	64,600	66,392	66,696	70,244	66,680	60,881	57,657	64,676
固定負債	百万ドル	78,888	86,272	97,754	82,270	84,246	85,751	86,272	84,498	97,319	97,091	97,754
有利子負債	百万ドル	53,435	62,592	69,566	58,302	61,615	62,554	62,592	76,457	77,694	76,457	69,566
純資産	百万ドル	115,640	116,778	103,702	117,993	116,862	114,994	116,778	112,006	101,205	102,234	103,702
キャッシュフロー												
営業CF	百万ドル	24,703	24,685	14,803	3,629	6,251	8,206	6,599	1,299	3,479	4,778	5,674
設備投資	百万ドル	22,185	19,237	15,534	3,587	3,896	7,095	4,659	4,381	3,278	2,687	5,188
フリーCF	百万ドル	7,298	14,332	4,800	3,673	3,383	3,927	3,349	572	1,717	1,527	984
時価総額	百万ドル	137,876	142,521	113,988	144,487	145,869	136,163	142,521	100,710	98,845	89,859	113,988
従業員数	人	104,460	107,776	105,476	-	-	-	-	-	-	-	-

出所:決算報告プレスリリース

3 2020年決算と設備投資見通し

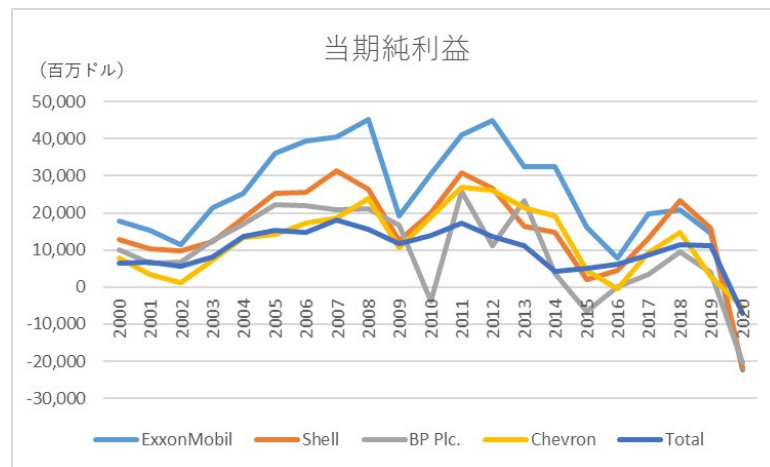
1) 収益動向

Exxon と Mobil が統合されて 5 社体制となって以降、メジャー企業は景気後退・油価下落に対して垂直統合型ビジネスモデルの強みを活かして相対的に良好な業績を維持してきたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大により大幅な収益悪化を記録した。通年ベースで全社が大幅な当期純損失を計上、赤字額の合計は 772 億ドルに達した。新型コロナウイルス感染拡大により再生可能エネルギー

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

ギーへのエネルギー転換が加速しており、石油・天然ガスに対する需要ピーク見通しが前倒しとなり想定油価が下方修正されたことで事業資産の減損損失が膨らんだことが主因であった。



出所:Evaluate Energy

ExxonMobilの当期純損失(2020年通年)224億ドルの主因は米国・カナダ・アルゼンチンにおける天然ガス上流資産の減損処理 201億ドルであった。これは取得時から天然ガス価格が低下していたため事業採算が疑問視されていたものであり、直接的には油価・ガス価格見通しの引き下げによるものではなかったが、開発計画を見直すに至った要因としては新型コロナウイルス感染拡大とエネルギー転換による需要・価格見通しの変化があったと考えられる。

Royal Dutch Shellの純損失 217億ドルの主な要因は、油価見通しの引き下げによる米国メキシコ湾・ブラジル沖・北海・ナイジェリア・米国非在来の上流資産と豪州天然ガス液化プロジェクトの事業評価見直しに加え、長期的な精製マージンの引き下げによる石油精製設備の再評価を実施したことであり、合わせて281億ドルの減損処理を実施した。

BPの純損失 203億ドルは、油価見通しの引き下げによりアゼルバイジャン・米国非在来(シェール)・カナダ・エジプト・インド・モーリタニア・セネガル・北海・トリニダード・米国アラスカ州の上流資産と中下流資産で発生した144億ドルの減損処理に加え、探鉱資産の償却103億ドルを実施したことが主な要因である。BPは2030年までに(ロスネフチを除く)石油・天然ガス生産を現状の250万boedから150万boedまで削減する目標を掲げており、新たなフロンティア地域における探鉱計画の停止を発表している。探鉱資産の償却はこの計画変更に伴うものであり、アンゴラ・ブラジル・カナダ・エジプト・インド・米国メキシコ湾の資産が対象となった。

Chevronの純損失55億ドルの主因も減損処理48億ドルであり、その内訳は米国12億ドル、海外

Global Disclaimer(免責事項)

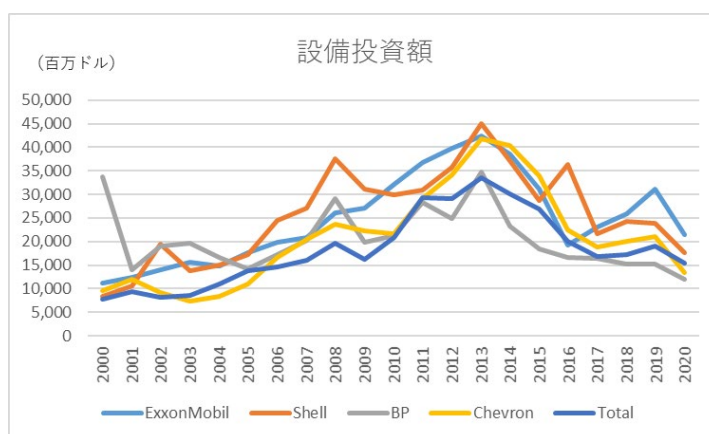
本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示してくださいようお願い申し上げます。

事業部門36億ドルであった。Total の純損失は 72 億、資源価格の低迷や低炭素化への対応を踏まえてカナダのオイルサンド事業を中心に 85 億ドルの減損処理を実施した。

天然ガス液化事業に強みを持つ Royal Dutch Shell と Total の 2 社は減損処理を除けば利益を計上していたのに対し、米国シェール開発に強みを持つ ExxonMobil と Chevron は減損処理を除いても採算を確保できていない。BP の収益動向については 2010 年に発生したメキシコ湾の原油流出事故や BHP から米国シェール資産を買収したことによる借入増加の影響もあるため、IOC から IEC への戦略転換により探鉱資産の償却を一時的な要因として早期に採算を確保できるか注目される。

2) 設備投資

メジャー企業 5 社による 2020 年設備投資の合計額は 823 億ドルとなり、前年度 1,196 億ドルから 31%、期初計画から 26% の減少となった。メジャー企業は今年も設備投資計画の積み増しに慎重な方針を維持しているが、再生可能エネルギーや中下流事業向けの投資はむしろ拡大するとしている。グローバルベースで現状程度の石油・天然ガス生産を維持していくのに必要とされる 3,000～5,000 億ドル規模の石油・天然ガス上流開発投資に占めるメジャー企業のウェイトはさらに低下すると見られる。



出所: Evaluate Energy

ExxonMobil は従来石油・天然ガスに対する需要の増加に対応して現状 370 万 boed の生産量を 2025 年に 500 万 boed まで拡大するため年間 300～350 億ドルを投資する計画としていたが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえて 2025 年まで 370 万 boed 程度の生産量を維持すると見直しを

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示してくださいようお願い申し上げます。

えた。これを踏まえて実施したのが第4四半期の減損処理であり、2025年までの投資計画も200～250億ドルに下方修正しているが、2021年の設備投資の見通しは借入圧縮を優先するため160～190億ドル程度に止めている。

Royal Dutch Shellの2021年以降の設備投資は190～220億ドルを計画であるが、純債務が650億ドル下回るまでは抑制的な運用となる。当面は50%程度を上流開発事業に充てるが将来的には35～40%に削減し、代わりに再エネ・バイオ燃料・水素などの成長分野を25%まで増加するとしている。

Chevronの2021年設備投資計画140億ドルの内訳は上流開発115億ドル(米国50億ドル、海外65億ドル)、中下流21億ドル(米国21億ドル、海外9億ドル)、再エネ関連等その他4億ドルとなっている。2025年にかけて年間140～160億ドルを投資する計画であり、高利回り・低炭素の上流開発投資による企業価値の向上を目指しており、米国パーミアン、カザフスタンのテンギス油田拡張プロジェクト、米国メキシコ湾、東地中海ガス田開発が含まれる。

BPは借入削減計画を達成するまで年間130～150億ドルを目途に設備投資計画を立てており、Totalも2025年まで130～160億ドルを目途としているが、2021年については120億ドルを上限としている。

3) エネルギートランジション戦略

欧州ではスウェーデンの学校ストライキ運動や英国の環境団体エクステインクション・レベリオンなどのように化石燃料開発の利益を享受するエネルギー業界に対する社会的な要請が強く欧州系メジャーは再生可能エネルギー投資に注力するなどエネルギートランジション戦略が進んでいた。2019年12月Repsolが2050年までに温室効果ガス排出ネットゼロを達成すると表明したのを皮切りにEquinor・ENIもネットゼロ目標を発表していた。メジャー企業では2020年8月にBPが発表した新経営戦略では2050年までにスコープ3排出ネットゼロ目標を掲げ、石油・天然ガスの生産量を2030年までに4割削減すると表明した。他の欧州系メジャーの対応が注目されたが、Totalのスコープ3ネットゼロは欧州地域のみ、Royal Dutch Shellは未だにスコープ3ネットゼロまでは踏み込んでいない。

米国ではトランプ政権下のエネルギードミナンス戦略によりシェールを始めとする石油・天然ガス開発が推進されてきたが、パリ協定復帰を公約したバイデン大統領の就任により、証券取引委員会

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

や連邦準備制度理事会からの気候変動問題に関する情報開示やストレステスト実施の要請が高まった。今のところ米系メジャー企業の温室効果ガス排出削減目標はスコープ 1・2 までに止まっており、設備投資の内容も欧州系のような再生可能エネルギー・電力バリューチェーンの下流に降りていく状況には至っていないが、欧州系に比べて対応が遅れていた米系メジャー企業にもエネルギーtransition対応を加速させる動きが見られる。二酸化炭素回収貯留(CCS)・バイオ燃料・水素技術など上流開発関連を中心に中下流事業が補完する形ではあるが、エネルギーtransition関連投資に対する優遇税制の動向などが注目される。

4 まとめ

2020 年第 4 四半期決算では ExxonMobil が減損処理を実施して 200 億ドルの損失を計上、年度決算ではメジャー企業 5 社が揃って損失を計上するなど、エネルギーtransitionによる影響がクローズアップされているが、これまで対応が遅れていた米系メジャー企業が二酸化炭素回収貯留事業への取り組みを強化するなど新型コロナウイルス感染拡大による油価の下落と需要ピークが前倒しになったことが契機となってエネルギーtransitionに対する取り組みが進んだことも注目される。

メジャー企業のエネルギーtransition戦略は上流開発投資だけに止まらず、精製・石化事業など全社的な事業ポートフォリオの見直しに及んでいる。BP がスコープ 3 温室効果ガス排出ネットゼロ目標を掲げ、Total は欧州域内スコープ 3 ネットゼロ目標を掲げて TotalEnergies に社名変更すると発表、実現はしなかったが ExxonMobil と Chevron が合併を検討していたことも報道されたている。新型コロナウイルス感染拡大によりエネルギーtransitionが加速した 2020 年はメジャー企業各社の戦略にとっても転換点となった。

以上

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。